

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立砂川高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 総務主任＝事務局長 計1名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長2名、経営企画室長、総務部主任、教務主任、生徒指導部主任（主幹教諭）、進路指導部主任、保健相談部主任、ICT推進担当、3年次主任、2年次主任、1年次主任
計13名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者(大学教授)、NPO代表、近隣中学校長、近隣企業代表、警察署安全課少年係、子供家庭センター所長
計6名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

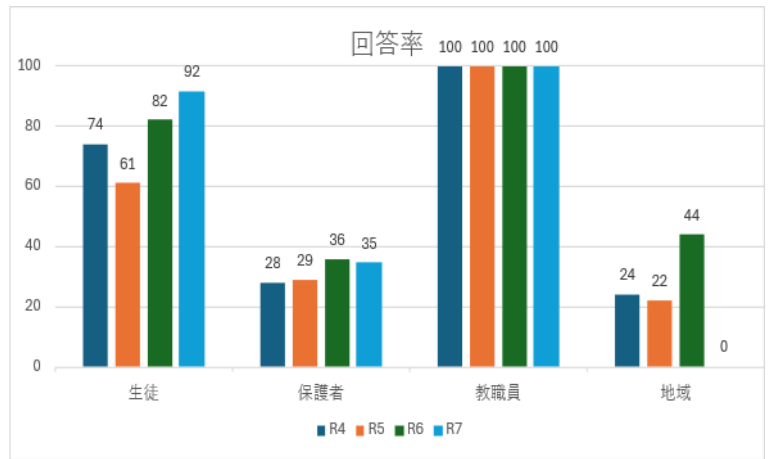
- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年5月19日（月）
内部委員13名、協議委員4名（協議委員欠席者には後日資料等を送付）
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
令和7年度学校経営計画、令和5年度学校経営報告、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
各分掌の今年度の取り組み、本校の現状と課題等
協議委員からの教育活動に対する意見等
 - 第2回 令和7年11月10日（月）
内部委員12名、協議委員3名（協議委員欠席者には後日資料等を送付）
各分掌・学年より、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議、意見交換
 - 第3回 令和8年2月2日（月）
内部委員12名、協議委員3名（協議委員欠席者には後日資料等を送付）
各分掌・学年より、これまでの教育活動に関する報告
学校評価の報告、提言に向けた協議、次年度に向けた方向性の確認
協議委員からの教育活動に対する意見
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和7年11月10日（月）
内部委員2名、評価委員2名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第2回 令和8年2月2日（月）
内部委員2名、評価委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- 実施時期** 令和7年11月20日から12月25日(地域は令和8年1月8日まで)
- 実施対象 生徒** Microsoft Forms(以下 Forms と記載)で作成したフォーム(記名式)を統合型学習支援サービス(以下 Teams と記載)の課題機能で配信(3学期転入生については回答対象外)
- 保護者** Forms のフォームを学校連絡サービスにて配信(副校長のアカウントより)
- 教職員** Forms のフォームを Teams にて配信(記名式)
※副校長および授業を担当する全職員を対象とした(講師は除く)
- 地域** 町内会長に依頼の上、用紙配布 / Forms にて実施(無記名式)

(2)回収率について

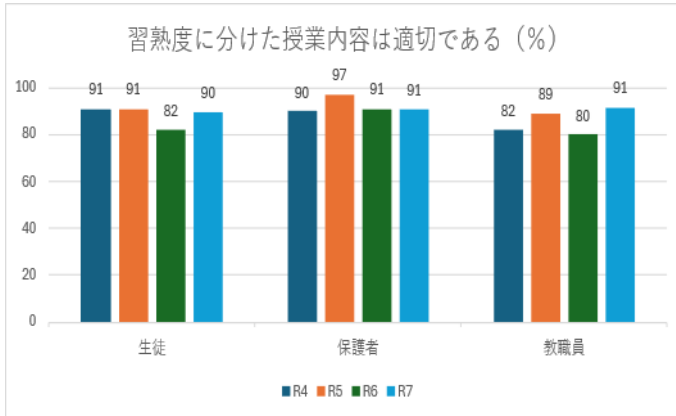
生徒 465人中426人回答
保護者 465人中162人回答
教職員 47人中 47人回答
地域 12世帯回答



3. 学校評価アンケートの集計結果と分析(生徒、保護者、教職員)

(1) 学習・授業について

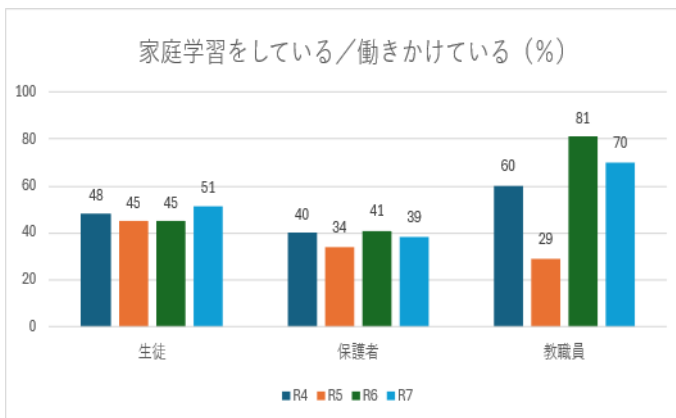
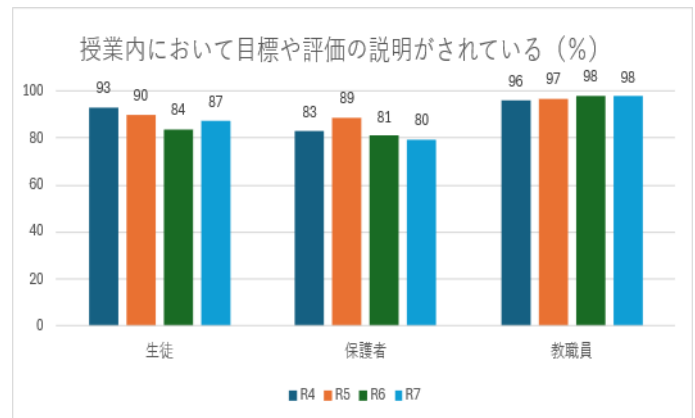
※以下、各項目について肯定的回答(1と思う、2ややと思う)の割合をグラフで示す。



①今年度(R7)の結果から、生徒、教職員の評価が上昇している。保護者は高水準のまま横ばいである。

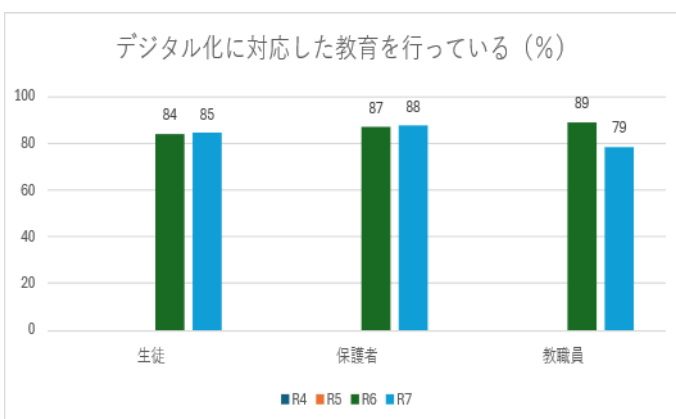
習熟度別授業の在り方として、各授業担当者が検討・工夫した結果と考えられる。今後も指導内容を検討・工夫を継続していくことが求められる。

②今年度(R7)の結果を見ると、教職員の評価は98%と非常に高いが、生徒(87%)と保護者(80%)の評価が相対的に低い。目標や評価の説明が十分に伝わっていない可能性があり、授業中の説明をより分かりやすくする工夫が必要である。



③今年度(R7)の結果では、教職員の評価が11ポイント低下している。一方で、生徒は6ポイント上昇。保護者は横ばいで低い評価。家庭学習の重要性を生徒と保護者に、より強く認識させるための働きかけを強化する必要がある。

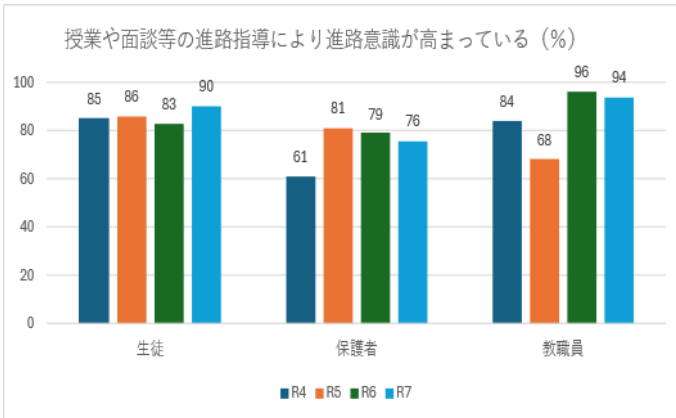
教職員の「働きかけ」に対して、生徒の「実施」状況は低いため、教職員の家庭学習を推進している意識が低くなったことが考えられる。生徒の実施状況が向上していることを踏まえ、教職員の「働きかけ」を向上していく必要がある。



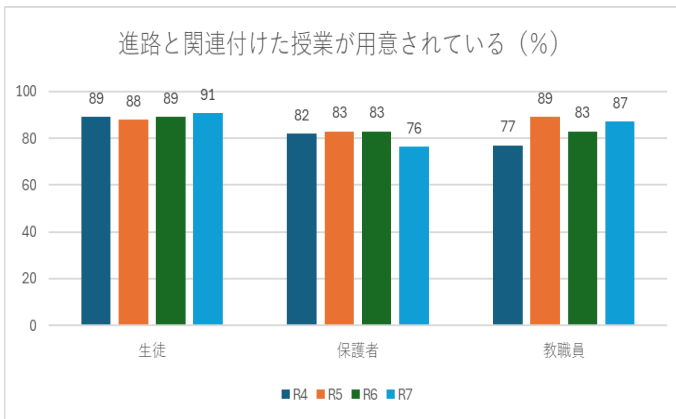
④左記の質問は昨年度から設定した。

生徒・保護者・教職員いずれも高い評価となっているが、教職員の低さが際立つ。学校のICT方針や一人一台端末の活用は、生徒・家庭からの見え方・体感としては概ね良好の様子。教職員の低さは、一部の教職員の利用に対する自己評価の低さがあると考えられる。校内における事例やICT化に対するテンプレート化などを校内で推進する必要がある。

(2)進路指導について

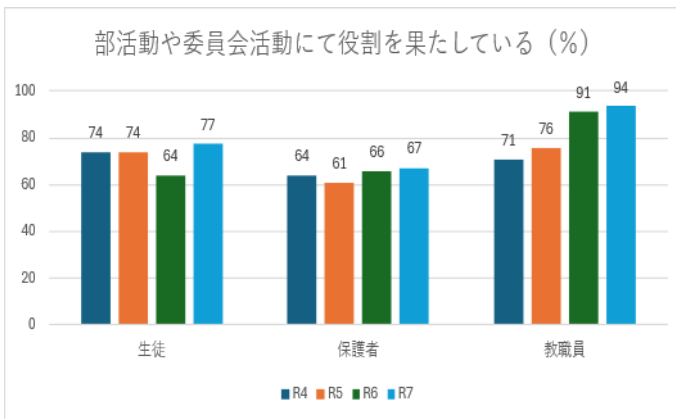


①今年度(R7)の結果から、生徒(90%)と保護者(76%)の評価は高いが、教職員の評価(94%)がさらに高い。進路指導部を中心としたさまざまな取り組みが生徒・教職員に浸透していることがわかる。この結果を踏まえ、進路指導の質を維持しつつ、保護者にも様々な進路行事の意義を浸透させ、さらなる進路意識向上を図るための取り組みを継続することが重要である。



②今年度(R7)の結果から、生徒(91%)と教職員(87%)の評価は高いが、保護者の評価は(76%)と低い。履修登録の際に、生徒自身が自身の進路と結び付けて考えていることが伺える。保護者のポイントが低い理由としては、履修と進路の関係が見えづらいことが要因として考えられる。保護者に対して、履修登録の説明の場を設けたり、進路先の関係を示したりすることができる、改善されていくと考える。

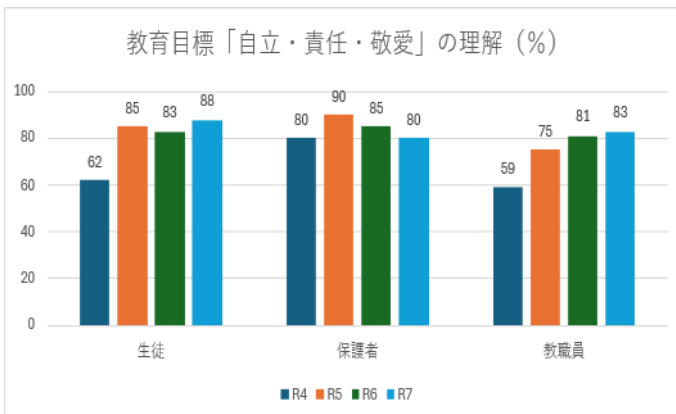
(3)自主的・実践的活動について



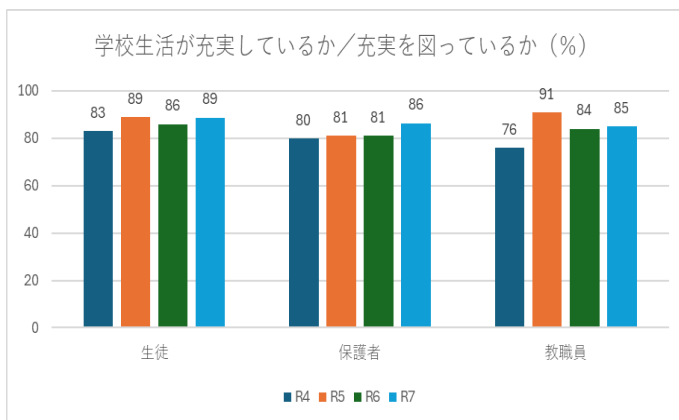
今年度(R7)の結果では、教職員の評価が94%と高く、生徒も13ポイント向上している。生徒会や各種委員会が中心となり行事の運営を行えたこと、部活動での生徒の活躍が結果につながっていると考える。生徒の実感が高まったことが学校生活への充実につながっていることを期待できる。

委員会活動、部活動のより活性化を図りつつ、外部への発信を積極的に図っていくことが重要である。

(4)教育目標(スクールミッション)と学校生活について



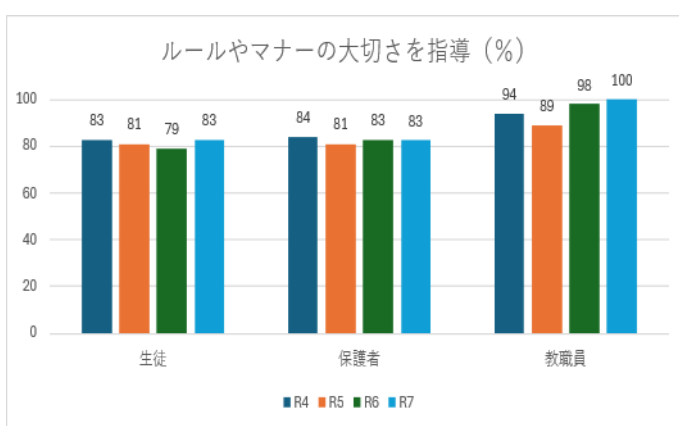
①今年度(R7)の結果を見ると、いずれの評価も高い。教育目標の理解をさらに深めるために、引き続き全体的な啓発活動や研修を強化し、全員の理解度を高めることが求められる。



②今年度(R7)の結果を見ると、いずれの評価も高い。微増ではあるが、生徒の評価が3ポイント、保護者の評価が5ポイント上昇していることから、生徒の学校生活の充実を家庭でも実感できていることが重要な結果を示している。後述する生徒・保護者の自由意見での評価の声も非常に高い。

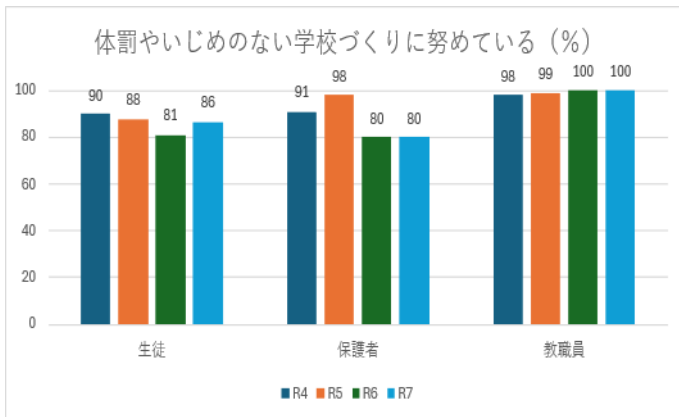
今後も高い評価を維持できるよう、砂川高校として評価されている部分を維持・教職員間で共有しつつ、教育活動を実施していくことが求められる。

(5)人権尊重・防災教育について

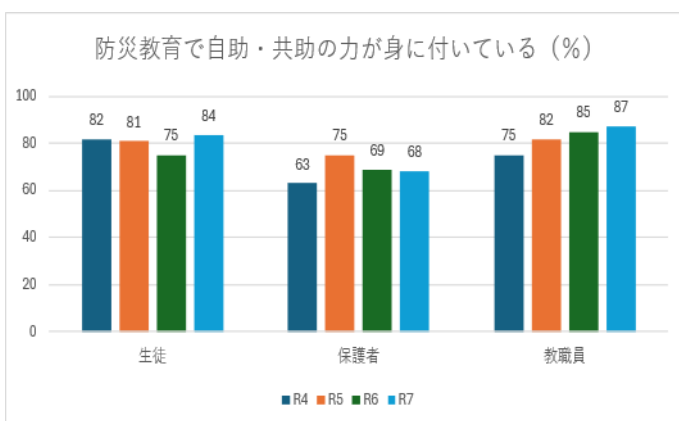


①今年度(R7)の結果では、教職員の評価が100%である。一方で、生徒(83%)と保護者(83%)の評価は若干低い。校内での盗難被害などについて、多くの場面で伝えてきた。盗難被害を減らすことができたが、実際に被害にあった生徒が多くいることがこの結果を示していると考えられる。

今後もルールやマナーの重要性をより効果的に伝えつつ、具体的な対策を伝えていく必要がある。



②2年連続で、教職員の評価が100%である。生徒と保護者の評価はほぼ横ばいであり、教職員と比較すると低い。体罰やいじめ防止の取り組みをさらに強化し、生徒や保護者への説明や啓発活動を充実させることが必要である。



今年度(R7)の結果では、教職員の評価が87%と高く、生徒が9ポイント上昇した。これまで実施してきた避難訓練の意義が広く伝わってきていると考えられる。保護者は68%と横ばいであり、低い評価である。避難訓練などの様子を保護者が目にする機会がないため、ホームページなどでの情報発信を継続することが肝要である。

4. 地域への学校評価アンケート結果

レベル5: わからない

レベル4: そう思わない

レベル3: あまりそう思わない

レベル2: ややそう思う

レベル1: そう思う

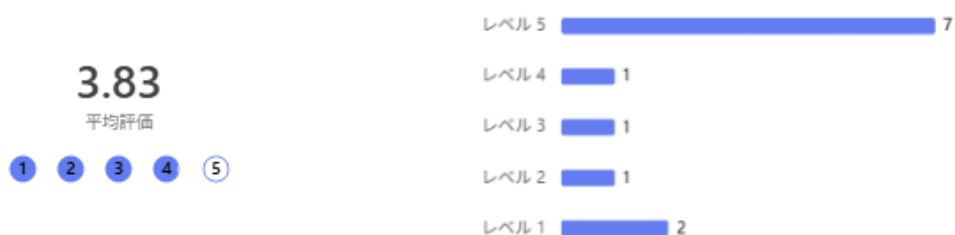
1. 本校の生徒は、登下校の様子などから見て、明るく楽しい学校生活を送っていると思いますか。(0 点数)

[詳細情報](#)



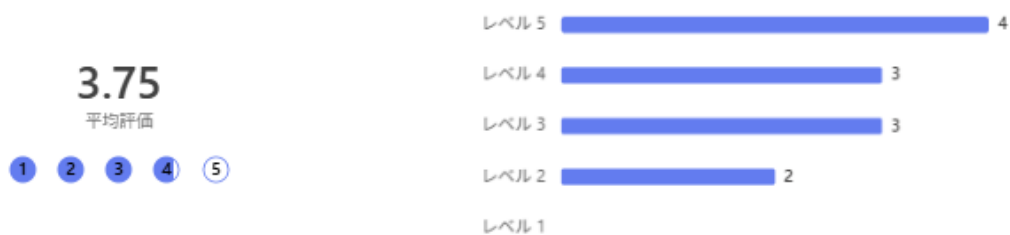
2. 本校が、学校説明会や授業公開などをおこなっていることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



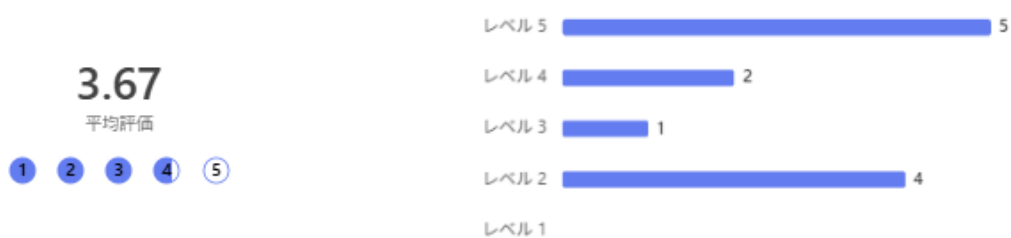
3. 本校が、開かれた学校づくりに努めている印象をお持ちですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



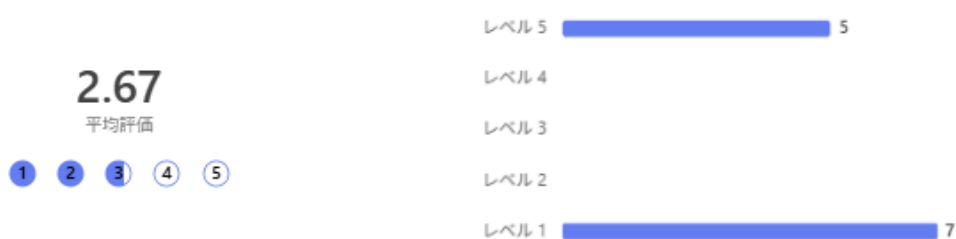
4. 本校の生徒を見て、集団生活のマナーや社会のルールなどが身についていると思いますか。(0 点数)

[詳細情報](#)



5. 本校が、昼夜間定時制課程であり、3部制の高校であることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



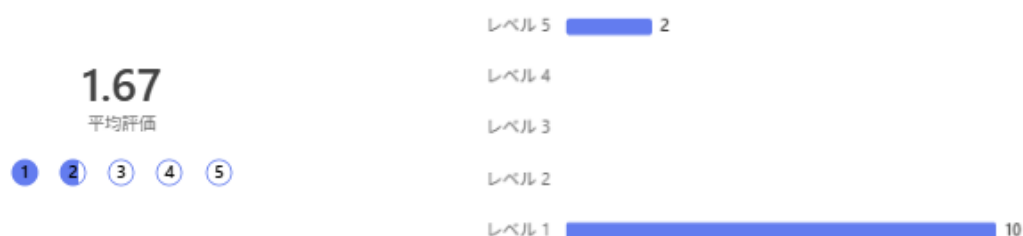
6. 本校が、単位制の高校であることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



7. 本校が、普通科の高校であることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



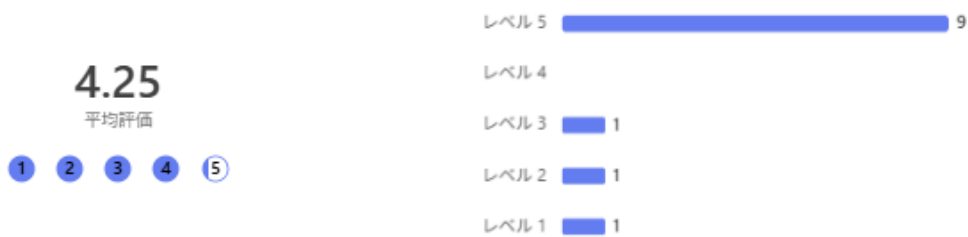
8. 本校が、通信制課程を併設した高校であることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



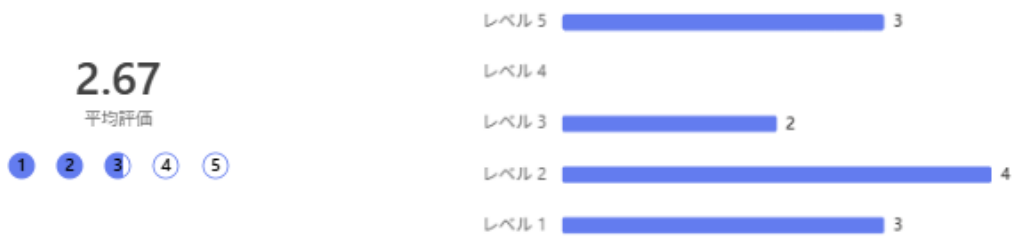
9. 本校の卒業生のおよそ 7 割が、大学・短大・専門学校などへ現役で進学していることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



10. 本校の正門付近など、学校敷地内外の清掃はよく成されていると思いますか。(0 点数)

[詳細情報](#)



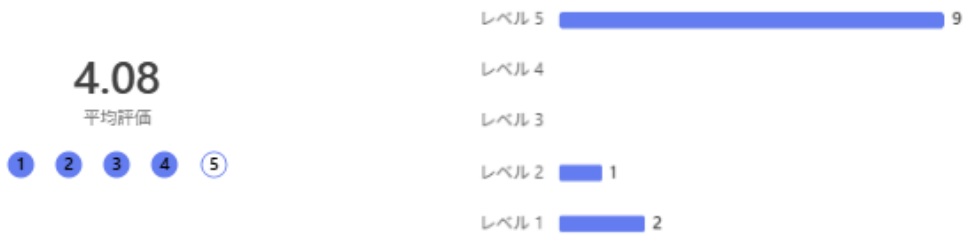
11. 本校が、災害時に保護を必要とする帰宅困難者に対して、水・トイレ・休息の場を提供する帰宅支援ステーションとなっていることをご存じですか。(0 点数)

[詳細情報](#)



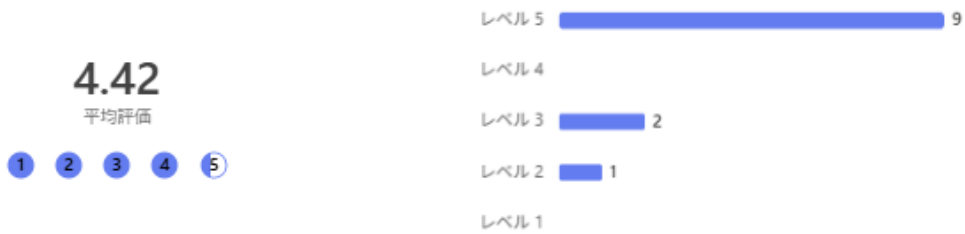
12. 本校のホームページをご覧になったことがありますか。(0 点数)

[詳細情報](#)



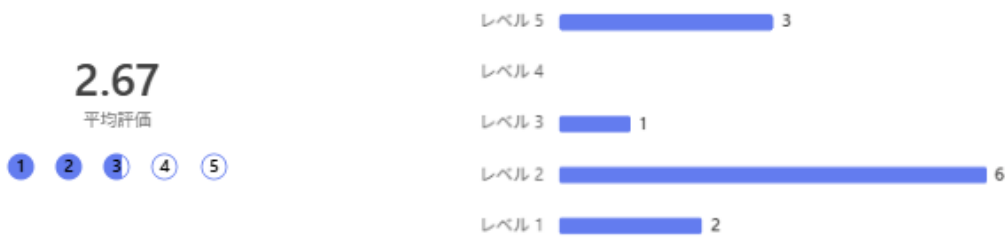
13. 本校のホームページで、興味を感じたり、印象に残ったりした内容がありましたか。(ご覧になったことがない場合は、「5」と回答してください。)(0 点数)

[詳細情報](#)



14. 本校で、近隣地域にお住まいの方が参加できる行事等の実施があれば、参加したいと思いますか。(0 点数)

[詳細情報](#)



5. 自由意見(まとめ)

(1) 生徒

良い点

1. 単位制や選択授業、3部制といった自由度が高い(16件)
「自分のペースで勉強できる」「単位制・選択授業が良い」といった昼夜間3部制に関する肯定的な意見が多く見受けられた。
2. 先生と生徒の距離が近い・仲が良い(11件)
「先生と生徒の距離が近いので先生と友達と楽しい学校生活が送れているところです!!」
「何かあった時先生が親身になり話を聞いてくれたり、しっかり自分のした事を評価してくれたりとするところがいいなと思いました。」など、多くの生徒が教職員に対する親しみやすさや優しさを挙げている。
3. 学習活動や部活動などに関する満足度が高い(10件)
「学校行事や提供内容に満足している」「All is good and fine」といった学校生活に対する満足しているという自由記述意見も見受けられた。
4. 生徒同士の仲が良い・明るい雰囲気(6件)
「いじめがなく、みんな仲がいい。先生と生徒の仲がいい。」「明るい生徒と学校」など、生徒同士の関係性が良好な点、居やすいといった実感を持つ生徒が多いことが読み取れる。
5. 自由な校風(5件)
「縛られず自由なところはすごくいいと思います！勉強面でも身だしなみでも!」「良いところ…自由なところ」といった、厳しすぎない校則について肯定的な意見が多く見受けられた。
6. 学校の施設や立地が良い(5件)
「駅から近い」「緑豊か」「飲み物が安い」といった、学校自体に対する良い評価も多数見受けられた。
7. 多様性がある(3件)
「いろんな人がいる」「多国籍の友達がいる」といった、在京生に対する肯定的な意見も少数ながら見受けられた。
8. その他の良い点
「体育でできることが増えた」「バイトができる」「一足制が楽」など、他にも細かい良い点がいくつか挙げられている。

改善点や期待すること

1. 防犯対策の強化と盗難・窃盗への不安(12件)
「防犯対策してください」「盗難が多発している」「盗難する人を取り締まってほしい」など、今年度多発してしまった盗難に関する自由意見が最も多かった。生徒も学校生活に対する不安を感じていることが感じ取れる。
2. 校則や服装の改善(4件)
「理不尽な校則が多すぎる」「制服だるい」「カーディガンやベストの校則を変えて欲しい」など、服装指導などに関わる不満を感じている生徒が多数見受けられた。
3. LHR や授業の質の向上(3件)
「LHR の意義を高めて欲しい」「受験対策向けの内容も扱って欲しい」「授業内容を統一して欲しい」など、LHR や授業などの質の向上と統一感、計画性を望む声が見受けられた。
4. 行事に関する改善(2件)
「もっと行事を増やしてほしい」「行事の終了時刻を守って欲しい」など行事に対する改善を求める声も見受けられた。

(2) 保護者

良い点

1. 教員の親身で丁寧な対応(15件)

「いつも親身になって子どもの相談を聞いて頂いたり、声かけなどがありとても有難いと思っています。中学校よりも一人一人に親身になって頂いて感じます。」「日頃から先生方は熱心で生徒に対して個々に充分、ご対応下さり感謝しております。」など、例年と同じく、多くの保護者から、教員の生徒とのかかわり方やサポート体制について高い評価を得られた。

2. 生徒の成長・前向きな変化(13件)

「砂川高校に入ってから将来の事や、学習にも力を入れるようになりました。子供の意欲が出てきたことを喜ばしく思っています。」「中学校では全く馴染めず学校生活を充実させることができませんでしたが、砂川高校に入学してから、充実過ぎるほど楽しく過ごせています。」など、学校生活に対する充実度を評価する声が多数挙がっていた。

3. 学校への信頼・感謝(10件)

「砂川高校の先生は、優しい先生ばかりと子どもは言っています。安心して学校に通える環境を整えてくださり、ありがとうございます。」「先生方、経営企画室の方皆さんが熱心、丁寧な対応をしてくださり、砂高で良かったと感じております。」など、1.の内容を被る点はあるが、やはり教員の丁寧な対応に安心・信頼を置いている保護者が多い。

4. 友人関係・多文化(5件)

「よい仲間にも恵まれて楽しく通っていると思います。単位制、全日制という特色を生かした学校のよさを感じながら通わせることができます。」「多国籍の友達と関わることができ、色々なキャラの先生と出会い、とにかく楽しそうです。」など、今年度から入ってきた在京生徒とのコミュニケーションを通して、学校生活を楽しく感じている生徒の感想を家庭でも共有していることが見受けられる。

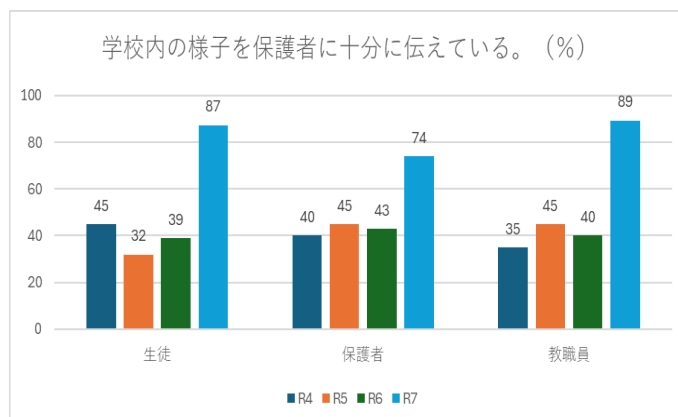
5. 多様性・単位制・柔軟な環境(5件)

「単位制であることや、カウンセリングルームが常時あるのはありがたい。一部二部三部があり、部で交流もあるので閉鎖的な環境にならないように、クラス替えも毎年して頂きたい。」「立川緑高校のような多様性、自由な環境のある学校になって欲しい。」など、生徒の居場所となる場所があることや、学校のシステム自体を評価している保護者が多数見受けられた。

改善点や期待すること

1. 進路・資格支援の情報不足(7件)

「進学を目指している親として、受験や進路に関する具体的なアドバイスをさらにいただけるとありがたいです。」「大学入試の内容が年々変わっているようで、進学にあたり親も不安があります。親も進学について気軽に情報を得たり相談する場があると良いのですが。」など、生徒を通じての進路に関する情報の共有だけでなく、保護者自信が相談する機会などを求めている保護者が多数見受けられた。また、右図の結果からも、保護者として学校内の情報が家庭に伝わってこないと感じている保護者は少なくないようである。しかし、今年度は、例年と比べて生徒・保護者・教職員ともに、外部に対する情報発信が活発になったと実感している様子である。この背景には、公式HpやInstagramの更新頻度を上げたことが結果に結びついていると言える。



2. 盗難・治安への不安(5件)

「紛失、盗難などの対策をしてほしい。」「最近、盗難など校内の治安に不安があります。随時早急な取り締まりをいただいている事を聞いており、ご対応に感謝します。」など、やはり今年度多発してしまった盗難被害についての不安な声が多くあがった。

3. 授業の分かりやすさ(5件)

「一部の授業で先生が生徒が内容を理解していると決めつけているのか一方的に授業を進める為、とてもわかりづらいと言っていました。」「もう少し生徒に寄り添ってわかりやすい授業にしてほしいです。」など、授業改善に関する希望も見受けられた。

4. 保護者・学校間の連絡改善(3件)

「学校からのプリントを子どもがだしてこないの、親にもメールなどでプリントが出されたことをわかるようにしてもらえると助かります。」「通学しているのか分からない。緊急時に連絡とれない。」など、学校からの連絡に対する改善要求が数件見受けられた。

5. 授業時間・学習量(2件)

「息子は、授業時間をもう少し設けてもらって、テスト前に余裕を持って範囲を終えて欲しいと話しておりました。」「休日や授業の時間短縮が他の高校と比べて多いのが気になります。」など、授業時間が少ないことを不安に感じる保護者の意見が2件見受けられた。

その他

1. 「回答にわからないがないため、わからないこともそう思わないを選択しています。わからないも追加した方が良いと思います。」
2. 「閉鎖的な環境にならないように、クラス替えも毎年して頂きたい。」
3. 「入学時には年数回保護者会があるときいていたが、年一回しかなくもう少し学校と保護者の交流があっても良いと思う。」
4. 「指導する側の先生方の髪型、髭、服装、言葉遣い、人へのおもいやりはいかがでしょうか。」
5. 「来年の進路活動を控えている中で担任の先生が産休に入られるという事なので心配です。」
6. 「入学式で男女混合で並ばせてるのは見てる側もしんどいです。隣とのスペースを離してあげてほしい。」
7. 「指導する側の先生方の髪型、髭、服装、言葉遣い、人へのおもいやりはいかがでしょうか。」

(3) 教職員

1. 業務・行事に関する意見(4件)

業務や行事が次々と増え、教員に余裕がない状況が問題視されている。異動者が多く、一部の教員に負荷が偏っている。など、人数的リソースや時間的リソースが不足しているという意見が多く見られる。

2. 教職員間のコミュニケーション・スキル(7件)

教員の知見(デジタル、生徒対応、相談、指導)を共有する仕組み。教員同士の対話機会の増加。コーチングなど指導技術の向上。など、教員間のコミュニケーションを活発化し、指導力を高めよう必要性を感じている教職員が多く見受けられた。

3. 生徒への取り組み(6件)

自己理解を促進するツールの定期活用。生徒同士の対話や発表の機会を増やす(練習含む)。授業で自己調整学習を増やす。デジタル機器への慣れを促進(一人一台端末の活用)。など、生徒への指導・働きかけに対する改善を図るべきであると考えている意見が多く見受けられた。

4. その他、3年次の授業が少なく、進路に向けて努力をもっとさせるべきとの意見や、生活指導に対する合意形成の必要性を訴える意見もあった。

(4) 地域住民(件数が少ないためすべての回答を記載する)

- ・ 団地付近でたむろしないでほしい。(上水自治会柏町支部)
- ・ 御校に限った話ではないですが、日本人としての明尾を高めるということを意識した教育を期待します。
- ・ 人間性重視の教育。
- ・ もっと宣伝し、開放して欲しい。
- ・ 活気のある高校。明るい校風。